

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター

実施機関名： 一般社団法人香川県中小企業診断士協会

B. 組織マネジメント	組織力強化	061 職場のリーダーに求められる統率力の向上
--------------------	--------------	--------------------------------

コースのねらい	職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。
----------------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容、演習」	訓練時間 (H)
講義内容	1 組織の管理	(1) 組織の管理機能 ・組織の階層と役割 ・マネジメントの3階層(経営・管理・監督)と対象 ・管理の目的と管理すべき目標の2側面 (2) 変化の時代に求められるリーダーのものの見方・考え方 ・リーダーの役割とは ・VUCAの時代に求められるリーダーの役割 ・成果を出す組織とは(組織の成功循環モデルをもとに解説) 【ワーク】組織の成功循環モデルからの気づき (3) 組織管理の原則 ・バーナードの組織の3要素(共通目的、貢献意欲、コミュニケーション)について ・自社の理念やビジョンの振り返り 【ワーク】メンバーとのコミュニケーションを振り返り改善点を発見する	1.5H 【講義】 20分 【講義】 20分 【ワーク】 15分 【講義】 20分 【ワーク】 15分
	2 職場の生産性と統率力	(1) 組織の力を引き出すことのできるリーダーとは ・統率力のあるリーダーとは ・統率力が職場の生産性に与える影響 ・統率力の類型 【ワーク】統率力のあるリーダーとは? ついていきたいリーダーと残念なリーダーについてグループで話し合い、研修受講生自身の姿勢を振り返る (2) リーダーシップとマネジメント ・リーダーシップとマネジメントの違い ・生産性向上のための心理的安全性と信頼関係構築 ・ダイバーシティマネジメントの基本と重要性 (3) 統率力を向上させる視点 ・ハード面(目標・成果)とソフト面(人間関係)の両面への配慮 ・経営者、管理者、監督者に求められる統率力 ・マネジメントの対象と機能を踏まえた4つの課題領域 ・求められるフォロワーシップ(ボスマネジメント)の観点 【ワーク】あなたの組織の課題は何か?	2H 【講義】 20分 【ワーク】 30分 【講義】 20分 【講義】 20分 【ワーク】 30分
	3 職場の情報伝達	(1) メンバーへの情報伝達 ・コーチングの手法によるメンバーの意欲向上 ・質問スキル(未来・肯定型の質問) ・面談でのコミュニケーションのポイント 【ワーク】質問スキルの実践 (2) チーム運営のポイント ・チームビルディングの基本ステップ ・良いチーム作りのために必要なこと ・チームワークを促進するリーダーの行動 【ワーク】より良いチーム作りのためにあなたができること (3) 自身の目指す組織・チームを考える ・コミュニケーションの質を高める信頼関係とは何か? ・自身が目指す組織やチームと自身の役割について ・心理的安全性のある組織づくりに向けたリーダーの役割 【ワーク】本日の学びを明日からの実践にどう活かすか?	2.5H 【講義】 15分 【ワーク】 25分 【講義】 20分 【ワーク】 20分 【講義】 20分 【ワーク】 50分
全体を通じて、時間配分は変動する場合があります。1時間に10分程度の休憩を実施します。☞			合計時間 6.0 (うち講義) (175分) (うちワーク) (185分)
【ワーク】時間には、検討いただく時間だけでなく、解説・全体共有する時間を含んでいます。☞			

カリキュラム作成のポイント(重要)
<p>・本講座の目的・ゴールとして、具体的には以下①～③を設定しています。</p> <p>① 部署内のチームワークの改善や部署間の協力体制の構築 ② 新入社員の離職防止の対策や、組織全体の力を底上げにつながる人材育成 ③ 全体最適を行動軸としたアサーティブコミュニケーションの実行</p> <p>これらに共通するものとして、アサーティブ(双方向間の快適な意思表示)な意識を身に付けていただける工夫を盛り込み、お互いを尊重しながら意見を交わす職場環境を目指していただきたいと思います。また、様々な日々の職場環境を想定したグループワークを通じて、傾聴の意識を高め、全体最適の視点を身に付けていただき、組織全体やチームでの活動を意識付けしていきたいと考えています。</p> <p>また、研修受講生が「リーダー」として「統率力」を構成する要因を理解し、現場で向上させるための具体的な手法を学べるよう意識しました。特に、管理者の役割と責任を明確にし、リーダーシップとフォロワーシップの違いを理解することで、管理者としての適切な行動を身につけられる構成としています。具体的な内容は以下の通りです。</p> <p>「1.組織の管理」では、経営・管理・監督の三階層の役割、現代に求められるマネジメントへの理解を通じて、これからの時代に求められるリーダーについて学習します。また、理念やビジョンとメンバーのニーズを結びつけ、組織目標の共有の重要性を理解します。</p> <p>「2.組織の生産性と統率力」では、統率力あるリーダーのスキルについて学び、研修受講生のこれまでを振り返りながら、マネジメントとの違いや管理者のリーダーシップスタイルについて理解を深めていきます。</p> <p>「3.職場の情報伝達」では、コーチング手法とチームマネジメントを活用し、より良いチーム作りに求められる関係性作りについて学びます。</p> <p>なお時間配分について、講義よりも【ワーク】時間優先で設定し、研修中により多くの検討・習得をしていただきたいと思いますと考えています。今回の担当講師は金融機関でのキャリアを経て、起業独立の経験があります。現在20期目を迎える会社経営者として組織づくりを統率してきており、現場経験も豊富です。また、当協会内では『認定講師統括リーダー』として、講師育成にも尽力しています。</p> <p>中小企業診断士としての専門知識や実務経験を活かし、分かりやすく実践的な指導を提供することをお約束し、質の高い指導のもと、受講者の皆様が実りある研修時間を過ごせるよう努めます。ぜひ、本研修を通じて新たな気づきを得て、受講生の皆さまにとって職場での実践につなげていただきたいと思います。</p>